

2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立松園幼稚園

採択活動名

気仙沼・唐桑だあいすき～「うみっておもしろい！」を育む海洋教育～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
-----	----	----

取り組みの概要

◎【であう・あそぶ・たべる】を視点とした実践

〈であう〉～海にまつわる「ひと・もの・こと・ばしょ」との出会い～

本園の幼児にとって身近な海である滝浜への散策をはじめとした海との出会いを丁寧に見取る。浜に落ちている様々なものや、海までの道のりで目にした漁船や浜仕事をしている人などに気付いた幼児のつぶやきを受け止めながら、興味や関心をふくらませていくような援助をしてきた。

幼児の興味や関心の広がりや寄り添いながら、出会わせる「ひと・もの・こと・ばしょ」を吟味し、幼児の心の動きに応じた出会いとなるような援助や環境構成を行った。

- 5月 滝浜散策, ウニ・ホタテ・ホヤ観察
- 6月 幼稚園海洋こどもサミット(唐桑・大谷・小泉との交流)
- 7月 エゾイソアイナメ観察
- 10月 馬場の浜散策(唐桑幼稚園との交流)
亀山・小田の浜への園外保育
ワカメの種ばさみ体験
- 12月 漁船・海のお仕事見学・松園虎舞体験会
沖縄・八重山支援学校とのオンライン交流
- 2月 タラ観察, 海の生き物観察会・ワカメ刈り取り体験



【真剣な眼差しで生き物を観察する様子】

〈あそぶ〉～海をイメージした遊びや感触遊びを楽しむ～

【体験⇄遊び】のサイクルを意識し、体験時に幼児が興味や関心を寄せている事柄について丁寧に見取り、遊びに発展させられるような素材を見つけ、職員間で共有してきた。体験を遊びで体現することで体験したことをより深く味わったり、表現遊びから海へのイメージを広げ体験を豊かにしたりすることができた。また、体験を振り返りながら未来の町へ思いを馳せ、〈住んでみたいな、こんな町〉という共同画を楽しみながら描き上げた。

- 【1学期】・イロイロ遊び・ジュース屋さん・えのぐ遊び・水遊び・プール遊び・シャボンアート 等
- 【2学期】・お店屋さんごっこ・デカルコマニー・海の探検ごっこ・漁船ごっこ・釣りごっこ 等
- 【3学期】・共同画(想像画)・貝殻などを活用した作品制作・はじき猿制作 等

〈たべる〉～海の恵みをいただく～

観察した海の生き物は、大切に命をいただき、海の恵みに感謝する気持ちをもてるような場を設ける。はじめは見たことのない魚に恐る恐る手を伸ばす姿が見られたが、見たり触れたりする体験を通して親しみをもち、「残さず食べるからね」「命を大切にいただくからね」と声をかけながら大切に食べる姿が見られた。ウニが昆布を食べることや、自分が口にして魚が海のどんなところに住んでいるのかなどについての興味も出てきている。

【食べたメニュー】

- ・蒸しウニ・コンブ佃煮・蒸しホヤ
- ・海の恵みカレー・たこ焼き
- ・ドンコのつみれ汁・ピザ
- ・バビーホタテ・シャクナゲット
- ・タラフライ・タラムニエル
- ・タラ白子汁・カニぱっとう
- ・カニクリームパスタ 等



【海の幸と栽培野菜のピザを食べる様子】



【年長児が作った漁船で釣りごっこをする様子】